

2012年9月7日

各位

**DAIKYO** 大京グループ

## 管理受託マンションの「組合会計システム」 想定外の災害に備えてデータセンターを首都圏と関西の2拠点に

大京グループのマンション管理事業等を手掛ける株式会社大京アステージ（本社：東京都渋谷区、社長：益田知、以下「大京アステージ」）は、約6,500のマンション管理組合（2012年6月末現在）より管理を受託しております。

確実な組合会計業務を遂行するために「組合会計システム」の運営とデータ保存につきましては、現在、信頼性の高い電源供給ノウハウがあり、かつ、耐震性に優れた首都圏データセンターにて安定稼働しております。

しかしながら、昨年の東日本大震災以降の教訓として、「想定外の災害」まで視野に入れた対策を実施することが企業の社会的責任となっていることから、大京アステージではマンション管理組合の「組合会計システム」のDR（ディザスタリカバリ）サイトを関西に構築し、想定外の災害が起きても管理組合会計業務の継続を担保することができるようになりました。

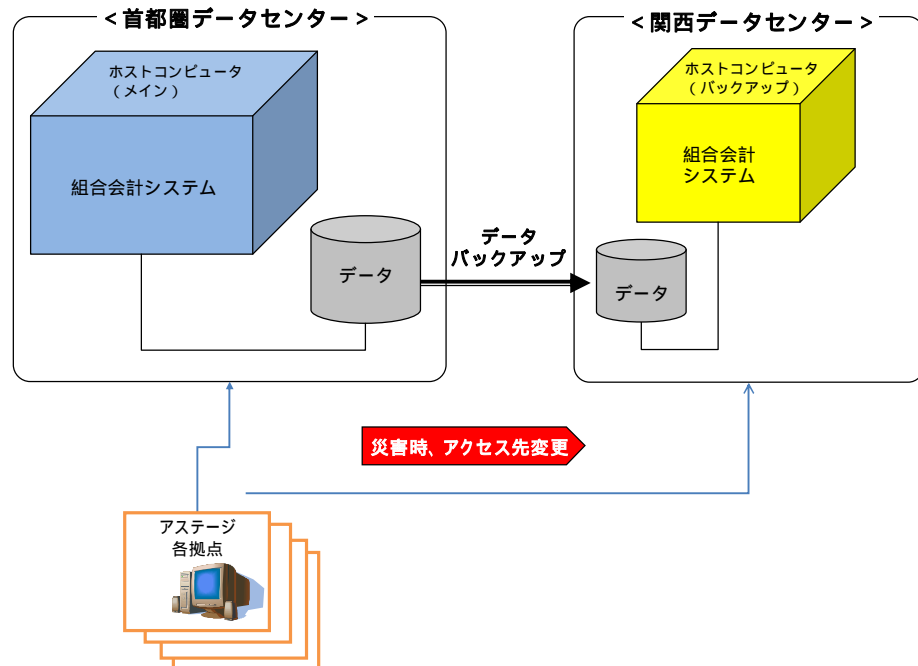
想定外の災害により、現在の首都圏データセンターが万が一利用不可能となった場合でも、バックアップセンターとして、新たに関西にDRサイトを構築したことで、お客さまからの問い合わせに対し、支店・営業所からお客さまのデータを照会・回答可能となりました。

関西を選定したのは、首都圏に次ぐ第二の業務基盤である点、また、システムの保守・運用委託会社による運用オペレーション等の要員配置がしやすい点によります。

今後も、マンション管理組合への更なるサービスの向上とより一層のご安心を提供いたします。

ディザスタリカバリ（disaster recovery）は、自然災害などによる致命的なシステム障害から、情報システムを復旧させること、あるいはそうした障害復旧に備えるための予備的措置や機能・運用体制のこと。

### 【イメージ図】



以上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先  
株式会社大京 広報室（伊奈、飯田） : 03-3475-3802